

ここからはじまる、新しい知の創造。

知性を育む緑豊かな 都市型総合大学

杉本キャンパス

Sugimoto Campus

- 商学部
- 法学部
- 理学部
- 生活科学部
- 経済学部
- 文学部
- 工学部

大阪市の南部、大和川を臨む地にある杉本キャンパスは、緑豊かな清々しい環境が魅力の一つです。JR阪和線「杉本町」駅から徒歩約5分と近く、アクセスも抜群。敷地中央にある杉本キャンパスのシンボル的存在、インテリジェンビル「学術情報総合センター」があり、新しい知の創造にふさわしい、研究・教育のための快適な環境を整えています。



阿倍野キャンパス

Abeno Campus

- 医学部(医学科・看護学科)

JRおよび市営地下鉄「天王寺」駅、近鉄「大阪阿倍野橋」駅の西側に高々とそびえ立つのが医学部学舎と附属病院です。その他、医学部看護学科学舎や各種センターがあるあべのメディックスから構成される阿倍野キャンパスでは、最新の施設・設備で高度な医学・医療・看護を学べる教育体制を整備しています。



1 医学部学舎

2 附属病院

3 医学部南館

4 医学情報センター (6F)

5 医療研修センター (7~9F)

6 学術情報総合センター 医学分館 (8~9F)

7 医学部看護学科 学舎



梅田サテライト

Umeda Satellite

- 創造都市研究科

社会人向け大学院である創造都市研究科では、働く人達の通学の便に配慮し、大阪・梅田(大阪駅前第2ビル6階)に「サテライト教室」を設けています。JR・地下鉄・私鉄の各駅から徒歩10分圏内。忙しい人達にとって大きなメリットとなります。



- 1 1号館
(事務室[職員課、経営管理課、学務企画課、研究支援課、第2部事務室])
- 2 商学部棟
- 3 経済学部棟
- 4 法学部棟
- 5 文学部棟
- 6 経済研究所棟
(創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター)
- 7 都市研究プラザ
- 8 田中記念館
- 9 保健管理センター
- 10 河海工学実験場
- 11 学術情報総合センター
(大学史資料室、事務室[総務課、学術情報総合センター運営課])
- 12 理学部棟
- 13 工学部棟
- 14 生活科学部棟
- 15 工作技術センター
- 16 児童・家族相談所
- 17 2号館(都市健康・スポーツ研究センター、複合先端研究機構)
- 18 全学共通教育棟(事務室[学生支援課])
- 19 4号棟
- 20 基礎教育実験棟
- 21 第1体育館
- 22 第2体育館
- 23-1 第1学生ホール
- 23-2 第2学生ホール
- 24 硬式野球場スタンド
- 25 ゲストハウス
- 26 新産業創生研究センター
- 27 高原記念館



メインカウンター



雑誌閲覧室



開架閲覧室

学術情報総合センター

学術・文化交流の創造拠点



杉本キャンパスにあって、ひときわ高くそびえ立つ学術情報総合センターは、約250万冊の蔵書を有する国内最大規模の大学図書館、情報処理・ネットワークの中核を担う大学情報化の拠点、情報教育の場という3つの機能を統合した“インテリジェントビル”です。

充実した教育・研究環境を備えた創造空間として、学術・文化交流のグローバルな情報発信拠点としても機能しています。

グループ学習室



メディア室



AV書架・英語学習コーナー



■ Library

図書館は、大学での学びの窓口

豊富な本や雑誌、施設、Webサービスなど、充実したサービスで勉強をサポート

自由に閲覧できる開架図書20万冊、雑誌約5200タイトル、CD-DVD約2300点など、全国有数の充実した資料を備え、授業の準備やレポート作成に利用されています。

開架閲覧室にはいろいろなタイプの閲覧席が約1300席あり、自由閲覧室では持ち込んだパソコンでインターネットに接続できます。また、グループでの話し合いやプレゼンテーションの練習をしたりすることのできるグループ学習室もあります。

さらに映画や音楽を視聴できるメディア室、英会話の練習やTOEIC等の試験に対応した教材を揃えている英語学習コーナーがあります。

学術情報総合センターは、平日は朝9時から夜10時まで、土曜日も朝10時から夕方5時まで利用することができます。

このように勉強や研究をするための環境が整った学術情報総合センターは大学の交流拠点として大勢の学生が集まり、年間約54万人の方に利用されています。

貴重書



■ Open Forum

世界各国から研究者が集まる国際会議・学会を開催

同時通訳ブースを備えた会議室では、国際会議や学会が開催されます。会議や学会参加者のための研究者交流室、大学主催の公開講座などに使用する文化交流室、少人数で使用するグループ研究室が学術交流の場を提供しています。

■ Education in Information Processing Facilities of Information Processing & Network

充実した設備がそろった高度情報化時代に 対応したネットワークシステム

分散環境型計算機などのコンピュータを設置して、最先端の研究を支援するネットワークシステムを確立しています。学内の施設をキャンパスLANによって結び、国内外に発信するグローバルネットワーク拠点としての役割を果たしています。また情報リテラシー教育にも力を入れている本学では、情報処理演習室等において、専門課程で必要な情報教育が行えるようOSやソフトウェアの充実した環境を整備しています。さらに、情報処理教育実験室には120台の端末が設置され、学生が授業の予習・復習を効果的に行えるようインターネットやメールを自由に使うことができる環境を整えています。

■ Research

21世紀の実学を求め、総合的な情報学の確立をめざして研究

総合的な情報学の確立をめざし、教員によるさまざまな専門チームを開設し、日々学術研究を行っています。図書館情報学部門、データベースを含むマルチメディアシステム部門、コンピューティング部門、ネットワーク部門からなる教員組織は、全学の情報処理教育を行うとともに、情報学に関連する総合的な研究やコンピュータシステムの運用、利用技術に関する研究、種々のアプリケーションシステムの開発・研究も行っています。

■ Exhibition

学術・文化情報を提供する発信拠点

エントランスからつながる展示コーナーでは、学術情報総合センター所蔵資料の中でも貴重書を中心とした特色ある資料展示や、本学の歴史に関する資料の企画展示を行っています。また、2008年度ノーベル物理学賞を受賞された南部陽一郎名誉教授の直筆色紙を展示しています。



大会議室



情報処理教育実験室



展示コーナー

学術情報総合センター 医学分館

阿倍野キャンパスのあべのメディックス8・9階にあり、医学・医療・看護学関係の資料を中心に、約18万冊の図書・雑誌・視聴覚教材を利用できます。

明るく開放的な空間が好まれ、たくさんの学生の皆さんに利用されています。

館内には、閲覧席はもちろん、ディスカッションや臨床実習前の演習によく使われているグループ学習室、集中して勉強するための閲覧個室などの施設があります。

授業での調べものやレポート作成、国家試験対策のための動画閲覧に使える約50台のパソコンを設置しています。(館内は無線LANにも接続可能です)

平日は朝9時から夜9時まで、土曜日は朝10時から夕方5時まで開館しています。



開架閲覧室



インターネットコーナー



化学実験室

「ひとりひとりに安全を、ひとりひとりの安全がみんなの安全に」を合い言葉に、2つの大実験室（実験台数92台、66台）で学生は1人1台の実験台を使用し、陽イオンの定性分析や合成実験などを行い、化学実験の基礎を習得します。実験の初めに安全教育を実施したり、有害化学物質の取り扱いをドラフトチャンバー（局所排気装置）内で行うことで、実験中の安全を確保しています。

核磁気共鳴装置や赤外分光光度計などの分光装置が配置された測定実験室では、光（電磁波）を利用してミクロな分子の構造を調べる先端測定技術の基礎を学ぶこともできます。



化学実験室



核磁気共鳴装置



生物学実験室

分類学、分子生物学、発生学、生態学、生理学など多岐にわたり、生命と自然を基礎から学ぶ実験・実習を行います。基本的な生命現象を観察し、結果を考察することにより生命科学の基礎を身につけます。

インキュベータ、マイクロピペット、マイクロメータ、1人1台の生物顕微鏡と実体顕微鏡などの操作も習得します。



生物学大実験室



都市型総合大学の教育拠点

全学共通教育棟

General Education Building

全学共通教育棟は、知の高度化、情報化に対応した全学共通教育が展開できるよう、マルチメディアを利用した教育設備を備えた施設です。また、自習や学生同士でのグループディスカッション用に自習室・交流談話室を設け、学生にとって快適な教育環境を整えております。具体的には、少人数体制の授業から300人程の学生が受けることの出来る授業まで、幅広く様々な授業形態に応じた大・中・小講義室やセミナー室が設置されています。



交流談話室



自習室



大講義室



感性を拓く 基礎教育実験棟

Basic Experimental Education Building

精選された149の実験テーマ

基礎教育実験棟では、主として理科系基礎教育科目の実験の場を提供しています。熱心な教員と実験棟技術職員とのチームワークで、幅広い実験テーマが企画されています。「これが1・2回生が使える施設?!」と言わせる建物と実験装置が、あなたを待っています。

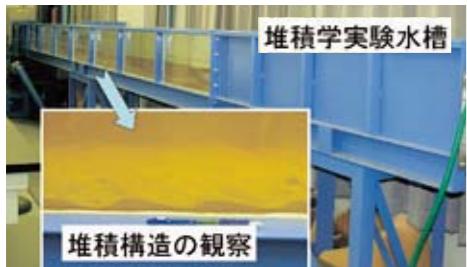
文科系学生のための実験科目「実験で知る自然の世界」も開講されていて大好評です。



地球学実験室

化石・鉱物・岩石などの鑑定や分析、大型水槽実験での地層のでき方、水の地球化学分析、パソコンによるデジタル地形と3次元可視化、地形の立体視と活断層の認定などといった幅広い分野の実験ができます。

実験は主にグループで行い、実験を通して基礎的な地質現象とその法則性について理解を深めます。



堆積学実験水槽

堆積構造の観察



物理学実験室

1階、2階、5階に大小あわせて約20の物理学実験室があります。光を扱うための暗室実験室や混信を防ぐための特別な電磁波シールド室なども備えています。各実験室には実験テーマごとにさまざまな実験装置が配置され、実験テーマは実験棟屋上で行う光速の測定など20以上あります。力学・熱力学・光学・電磁気学、さらには、物性・波動・エレクトロニクス・原子物理学といった幅広い分野の実験ができます。

実験は2人1組で行い、実験を通して基礎的な物理現象とその法則性について理解を深めます。



物理学大実験室



携帯電話の電波は届きません

外国語特別演習室

語学教育を目的とした教室で、全学共通教育棟の4階に5室設置されています。CALLシステムやAV機器を取りそろえ、学習者用パソコンと教師用パソコンをネットワークで接続し、インターネットを利用した語学の授業などが行われています。



図形科学演習室

CG(Computer Graphics)及び手描きによる図形科学教育を目的とした演習室で、ノートパソコン80台すべてに、CG、CAD、GISのソフトウェアがインストールされています。履修者が制作したCG作品は、次のURLのページで参照可能です。
<http://graphics.arch.eng.osaka-cu.ac.jp/zukeikagaku/>



研究施設＆附属施設

■ 人権問題研究センター

Research Center for Human Rights

女性差別や部落差別、民族差別をはじめとするさまざまな人権問題について研究しています。1973年に創立した、日本の大学では初めての人権問題研究機関で、研究員16名で運営しています。「ジェンダーと現代社会」や「現代の部落問題」、「都市社会と差別」などの科目を全学共通教育に提供しています。センターには人権に関する図書室もあるので、気軽にご利用ください。

■ 大学教育研究センター

Center for Research and Development of Higher Education

大学を取り巻く社会の変化が激しい時代にあって、大学教育はどうあるべきか。このセンターは、これからの時代にふさわしい大学教育のあり方を研究し発信するため、2003年に設立されました。4名の専任を含む約20名の研究員が、大学の役割や活動、およびその評価についての研究、カリキュラムや教育方法の開発に関する研究、大学教育が生み出す成果に関する研究などを進めています。また研究会やシンポジウム、セミナーなど、教員の相互研修を企画実施することも、センターの重要な役割です。

■ 英語教育開発センター

English Education Development Center

英語教育開発センターは、国際化に対応して、実際の場面で使える英語の習得を目的とするカリキュラムを提供するために設立され、全学共通教育での英語教育を統括しています。全学共通教育で提供するCE(College English)は、1クラスの学生数が25人程度の少人数制です。1年次は基本的にネイティブ・スピーカーが担当し、2年次では1年次で培った英語運用能力をさらに伸ばし、専門教育につながる高度な英語能力を習得するための授業を行っています。さらに、ACE(Advanced College English)も提供しています。また、自ら学びたいという意欲を強く持つ学生を支援するために、自習室を開設しています。

■ 都市健康・スポーツ研究センター

Research Center for Urban Health and Sports

都市健康・スポーツ研究センターは、さまざまな都市生活環境に住まう人々が、健康的でより活動的なライフスタイル、すなわちQOLの確立と向上を目指すための基礎的研究と応用的研究を行っています。また、「健康新聞科学」、「体力トレーニング科学」、「スポーツ実践科学」の講義とスポーツ実習を全学共通教育として提供し、学生の生涯教育に携わると共に、さらに大学開放事業や大阪市連携局への事業支援、産学共同事業などの社会(地域)貢献にも積極的に取り組んでいます。

■ 都市研究プラザ

Urban Research Plaza

都市研究プラザは、「都市とともに歩む」大学の使命として、都市研究・教育のグローバルな拠点となるとともに、「街に溶け込む大学」を目指す事業の一環として、都市問題資料センター・経済研究所を発展的に改組し、平成18年4月に開設されました。「プラザ」は大学の知的創造機能と都市の経済、行政、文化、市民生活の接觸・交流をより深め、先端的な都市論を創造するとともに「まちづくり」に飛躍的に貢献できる、今までにない特色のある斬新な研究組織です。従って各種のプロジェクト事業も学問的、社会的価値だけではなく、事業の実行可能性に注目を置いたものとなっています。継続的な事業としては、蓄積しての都市関連資料を「都市文庫」、戦後経済を研究する上での国内屈指の資料を有していた経済研究所所蔵資料を「経済研究所文庫」として構築し、学内外の研究者に対して提供しています。

■ 工作技術センター

Workshop Center

Workshop Center

■ 新産業創生研究センター

New Industry Creation Research Center

New Industry Creation Research Center

■ 複合先端研究機構

Multidisciplinary Advanced Research Institute

■ 証券研究センター

Securities Research Center